

横浜発・海外ビジネス情報【WBC メールマガジン】 5月29日号



横浜発・海外ビジネス情報「WBC メールマガジン」
vol.136 (2015年5月29日号) 配信数：
発行：WBC 事業受託者 株式会社パソナ



本メールマガジンは、横浜ワールドビジネスサポートセンター（WBC）事業での各種アンケートで、「配信希望」とご回答いただいた方、ウェブサイトより「配信申込」のお申し込みをいただいた方、各関係機関および企業の方にお送りしております。



1. -----■□■

<WBC 事務局より> ～お知らせ～

【WBC ホームページを更新しました】

WBC ホームページでは、関係機関で開催されるセミナーやイベントのご案内などを発信しておりますので、ぜひご覧ください。

<http://www.ywbc.org/>

WBC では無料でビジネス相談を受け付けております。お電話や来訪での相談のほか、インターネットからのお問い合わせも可能です。

↓WBC 海外ビジネス相談はこちらから

<http://www.ywbc.org/cgi-bin/contact2/contact2.cgi?lang=ja>

横浜ワールドビジネスサポートセンター（WBC）

横浜市中区新港2丁目2-1 横浜ワールドポーターズ 6F

TEL: 045-222-2030

FAX: 045-222-2088

E-mail : open@ywbc.org



2. -----■□■

<WBC 事務局より> ～お知らせ～

【WBC Facebook を更新しました】

WBC Facebook では日本国内の外国人及び海外へ向けて、英語で情報を発信しています。
WBC サービスのご案内、横浜市の概要や特徴、立地企業へのサポート、海外企業向けの最新のお知らせなどを英文で掲載しております。

関連機関の HP のご紹介やイベント情報など、海外からの様々な情報も随時更新しております。

↓ WBC Facebook はこちらから

<http://www.facebook.com/YokohamaWBC>

■ □ ■ -----

3. ----- ■ □ ■

<横浜市及び WBC 事務局より>

【WBC インキュベートオフィスのご案内】

WBC では、外資系企業が横浜市内に本格的なオフィスや拠点を構えるまでの「インキュベートオフィス」を提供しています。

このインキュベートオフィスは、横浜に新たに設立された外資系企業（日本法人及び日本支店、駐在員事務所）向けで、入居後 3 年以上の事業計画があり、WBC を退去後に横浜市内に事業所を設置する見込みがある企業を対象としています。利用期間は 3 年以内となっています。

WBC に入居している間は、アドバイザーが相談支援を行い、WBC の会議室等を無料でお使いいただけるほか、横浜ワールドポーターズ内のイベントホール等も割引料金で使用可能です。また、WBC の各種媒体（ホームページ・メールマガジン）を企業の PR・お知らせ等でご利用いただけます。

↓ WBC インキュベートオフィスの詳細はこちらをご覧ください。

<http://www.ywbc.org/office.html>

WBC インキュベートオフィスにご興味のある方は下記までご連絡ください。

<お問い合わせ>

横浜市役所 経済局 誘致推進課 WBC 担当

TEL : 045-671-3834

FAX : 045-664-4867

E-mail : ke-wbc@city.yokohama.jp

■ □ ■ -----

4. ----- ■ □ ■

<WBC 事務局より> ～コラム「世界のあれこれ」～

【～インド チェンナイ駐在生活～】

先般 3 月号のメールマガジン<世界あれこれ>の欄で、日本の戦後 70 年史に因んで、筆者の会社生活で印象に残る海外生活の第一弾<インドネシア・セマラン時代>を掲載しました。今月は、1978 年から 1982 年の 4 年間を過ごしたインド・チェンナイ（旧マドラス）での駐在生活、特に日常生活に焦点を当てて振り返ってみたいと思います。

チェンナイは、インド南東に位置したタミールナド州の州都であり、高温多湿地帯で厳しい生活環境でした。4 月、5 月、6 月は hot、hotter、hottest といわれる時期で気温が 30 度、40 度、50 度に届くような高温多湿が続き、インド人もビックリといった暑さでした。

（事実、比較的裕福なインド人はこの時期、避暑地に出かけていました。）当時のインドは、インフラが未整備で停電が頻繁に起こり、冷蔵庫の食物保管に苦労しました。夜の睡眠時には、停電時間が長くエアコンがストップする為、暑さでベッドに寝ることができず、タイル床に水を撒き、その上にゴザを敷いて寝ることもしばしばでした。市街では、自転車、牛、羊でごった返しており、食品市場を覗けばハエが群がり、特に魚市場では多くのハエで魚の姿が覆われ、気分が悪くなるほどでした。現地調達できないものは、食料品手当で、日本から船便で取り寄せたり、シンガポールへの年一回の買い出しで賄うといった状況でした。

生活環境は厳しいものでしたが、日本では経験できない生活様式を体験しました。当時チェンナイに住む外国人向け住居は、現在と違って殆どが一戸建て住宅であり、筆者宅も例外ではありませんでした。周りがマンゴの木々に囲まれた広い住宅で、時々、放浪する牛が庭に入って来るような長閑な環境でした。

家の近くには、イギリス統治時代に建てられた広大なマドラス・クラブがありました。英国を偲ばせる雰囲気のある施設であり、家族で出かけプールでの水泳、食事など、ここでは一時的にリッチな気持ちになれたものでした。余暇の過ごし方の一つとして、ゴルフがありました。当時のゴルフ場は、牛とヤギとの共生を思わせるコースでした。フェアウェイでは、牛、ヤギが現れ、草や芝生を食べている中、ティーショットを放ったところ、見事、牛に当たり、<モー・・・、勘弁してくれ??>と云わんばかり、こちらを睨み、悠然とフェアウェイを歩いている光景がしばしば見られたものでした。インドは、今後、世界経済を牽引する国として注目され、昨今、一段と日印経済交流も活発になってきた状況を見るにつけ、30 年以上前に駐在し、未だに郷愁を感じている筆者にとって、嬉しくも、更なる友好関係が築いていかれることを切望するものです。

(執筆：WBC アドバイザー 屋島)

■ □ ■ -----

5. ----- ■ □ ■

<横浜市より> ～セミナー開催のお知らせ～

【インドミッション事前セミナー第1回：マハラシュトラ州を中心とした西部インド情勢とインドの水セクターの現状等について 6/18】

平成 27 年は、横浜とムンバイの姉妹都市提携 50 周年です。また本年秋には、横浜市ムンバイ事務所も開設され、当地での記念事業も計画されております。これらを受け、横浜市及び関係団体では、インドミッションの派遣を 11 月中旬に予定しています。ミッション派遣の前に、成長回復が期待されるナレンドラ・モディ新政権のもと、西部インドの魅力やインドの水セクターの現状などについて講演いたします。

◆開催日時：6 月 18 日（木）14:00～16:30（開場 13:30）

◆開催場所：横浜ワールドポーターズ 6 階イベントホール B

（横浜市中区新港 2-2-1）

◆参加費：無料・事前申込制

◆申込締切：6 月 12 日（金）

◆定員：100 名

◆内容：

・「マハラシュトラ州を中心とした西部インドの魅力と進出日系企業動向」

ジェットロムンバイ事務所 Director 朝倉 啓介氏

・「インドにおける水セクターの現状と課題と、我が国の支援について」

JICA 南アジア部南アジア第一課企画役 岩井 伸夫氏

・インドミッションのお知らせ ほか

◆主催：横浜市、横浜商工会議所、ジェットロ、（一社）横浜インドセンター

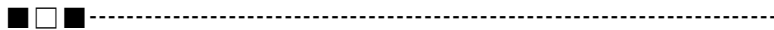
◆後援：神奈川県産業労働局、（公財）横浜企業経営支援財団、（公財）神奈川産業振興センター（予定）

<お問い合わせ>

（一社）横浜インドセンター

担当：渡辺、木口

TEL：045-222-7300



6. -----■□■

<横浜市より> ～個別商談会のお知らせ～

【タイ企業との個別商談会：自動車部品、電気電子部品、機械部品のメーカーや工業団地ディベロッパー総勢約 30 社・団体が参加 6/23】

本個別商談会へは、工業用部品や原材料、あるいは工業用地等のプロモーションを目的として来日する、タイの自動車部品、電気電子部品、機械部品のメーカーや工業団地ディベロッパー総勢約 30 社・団体が参加します。タイからの部品調達や委託生産、さらには技術提携や合弁事業をご検討中の皆様、この機会を今後のビジネス展開にぜひご活用ください。

さらに、タイへの投資支援としてタイ投資委員会（BOI）が個別の投資相談に応じるほか、協力団体よりタイ投資関連情報も提供いたします。

- ◆開催日時：6月23日（火）13:30～16:30（受付 13:15～）
- ◆開催場所：横浜ベイホテル東急 地下2階 クイーンズ グランド ボールルーム
（横浜市西区みなとみらい2-3-7）
- ◆参加費：無料・事前申込制
- ◆申込締切：6月15日（月）
- ◆定員：商談予定コマ数に達し次第締切
- ◆主催：タイ王国大使館経済・投資事務所（BOI 東京事務所）、国際機関日本アセアンセンター
- ◆共催：横浜市経済局、（公財）横浜企業経営支援財団
- ◆後援：ジェトロ、中小企業基盤整備機構、三菱東京UFJ銀行、三井住友銀行、みずほ銀行、商工中金、横浜銀行グループ、日タイ・ビジネスフォーラム

↓詳細はこちら

<http://www.idec.or.jp/?k=UfNB>

<お問い合わせ>

（公財）横浜企業経営支援財団

国際ビジネス支援部

担当：廣木、金子

TEL : 045-225-3730

Email : global@idec.or.jp

■ □ ■ -----

7. ----- ■ □ ■

<広報協力> ~IDEC よりお知らせ~

【海外拠点設立等の事業化可能性調査（F/S）の支援企業募集のご案内 ~6/5】

横浜企業経営支援財団（IDEC）では、海外拠点設立等の事業化可能性調査（F/S）の支援を行うため、海外 拠点設立の意欲を持つ市内中小企業を募集します。

◆募集期間：～平成 27 年 6 月 5 日（金）

◆募集対象： 横浜市内中小企業のうち、海外拠点設立を希望しているもの

◆支援対象事業：海外拠点設置を検討するために必要な調査事業等

（1）工場、部品調達拠点の現地法人設立

（2）営業・サービス拠点等の現地法人設立

◆支援内容

（1）海外進出事業計画の策定支援

（2）事業化可能性調査経費の助成（最大 60 万円）

市場調査、海外調査等に関して対象経費の 2/3 以内を助成します。

↓詳細はこちら

http://www.idec.or.jp/kaigai/whats_new/20150409100152.php

<お問い合わせ>

（公財）横浜企業経営支援財団

国際ビジネス支援部

TEL : 045-225-3730

FAX : 045-225-3737

Email : global@idec.or.jp

■ □ ■ -----